

教育研究評議会議事録（第233回）

日 時：令和6年1月25日（木） 14時58分～15時52分

場 所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川、藤代、喜多、水野、山本、松岡、海妻、宮川、林、横山、境野、八代、伊藤、木村（賢）、田代、南、木村（直）、宮本、織田、松林、清水、天木、柴垣、小林、成田、萩原、澤井、小出

欠席者：小藤田、村上、木崎

配付資料

- | | |
|-----|-------------------------------------|
| 議題1 | 国立大学法人岩手大学役員等体制について（案） |
| 議題2 | 令和6年度学年暦（案） |
| 報告1 | 第4期中期目標期間の教育研究の状況の評価に係る「評価実施要項」について |
| 報告2 | 教員人事に関する報告について |
| 報告3 | 令和6年度定例会議開催日程 |
| 報告4 | 経営協議会報告（第87回） |
| 報告5 | 学長・副学長会議報告（第279回～281回） |

議事に先立ち、前回議事録について、原案のとおり確定することとした。

議 題

1．国立大学法人岩手大学役員等体制について

学長から、国立大学法人岩手大学役員等体制について諮る旨が述べられ、次いで、机上配布資料に基づき新規に理事1名を選出することの説明と、副学長については本会議の議を経る必要があるため、審議する旨の説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

なお、今回は学内からの選出理事について報告したが、学外から選出する理事については現在調整中であり、2月の本会議に報告する予定であることが述べられた。

2．令和6年度学年暦（案）について

学長から、令和6年度学年暦について諮る旨が述べられ、次いで、喜多理事から、資料に基づき、基本的には本年度と同様で授業開始日は履修申告後となっているが、祝日授業日は無くなったこと、本件は全学教務委員会で了承を得ていること等の説明があった。また、学長から本学はクォーター制を導入していることから、令和7年度改組に向けて学生の短期留学やインターンシップが容易となるようなカリキュラム編成を検討してほしいことの付言があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

3. その他

なし

報 告

1. 第4期中期目標期間の教育研究の状況の評価に係る「評価実施要項」について

藤代理事から、資料に基づき、第4期中期目標期間の教育研究の状況の評価に係る「評価実施要項」について説明があり、第3期と同様に大学改革支援・学位授与機構が国立大学法人評価委員会の要請を受けて評価を実施すること、第4期中期目標期間の4年目終了時評価（令和8年度実施）のスケジュール、実施方法及び第3期からの変更点等について報告があった。

2. 教員人事に関する報告について

教員人事について、資料に基づき、第40回教員人事会議（令和5年12月21日開催）での審議分として人文社会科学部長から5件、教育学部長から3件、第41回教員人事会議（令和6年1月18日開催）での審議分として人文社会科学部長から5件、教育学部長から4件、理工学部長から1件の報告があった。

3. 令和6年度定例会議開催日程について

法人運営部長から、資料に基づき、令和6年度定例会議開催日程について報告があった。

4. 経営協議会報告

5. 学長・副学長会議報告

資料のとおり。

6. その他

なし。

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の2月29日（木）の15時から開催することが述べられた。